

令和5年度 柏市緑政審議会 報告事項

# あけぼの山公園 及び 柏市あけぼの山農業公園について



柏市都市部公園緑地課

## 本日の趣旨

- あけぼの山公園、柏市あけぼの山農業公園は、古くから、柏市を代表する観光施設であり、多くの方に親しまれてきた場所である。
- 市として、この両公園の歴史や魅力を次世代に引き継ぎつつ、時代のニーズに合わせて更に魅力を高め、柏市を代表する公園として市内外から認知され、将来に渡って、多くの方に愛される公園を目指したい。
- 本日は、両公園の概要や現在の運営状況、公園の魅力など、現状や市の課題認識についてご報告し、今後の方向性や検討の進め方について、ご意見を伺いたい。

## 本日の内容

1. 柏市における公園の現状
2. あけぼの山周辺地域の概要
3. 公園の運営状況
4. 公園の魅力
5. まとめ
6. 今後の検討

# 1. 柏市における公園の現状

---

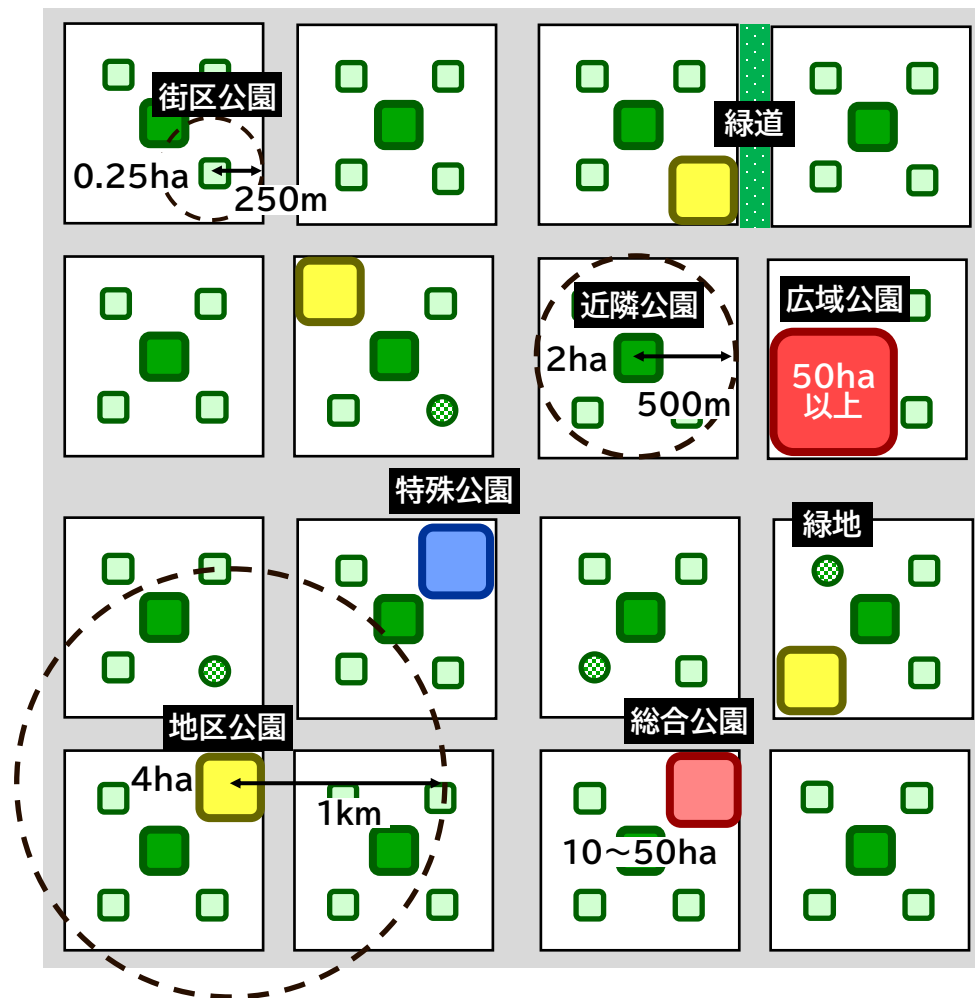


# ① 都市公園の概況

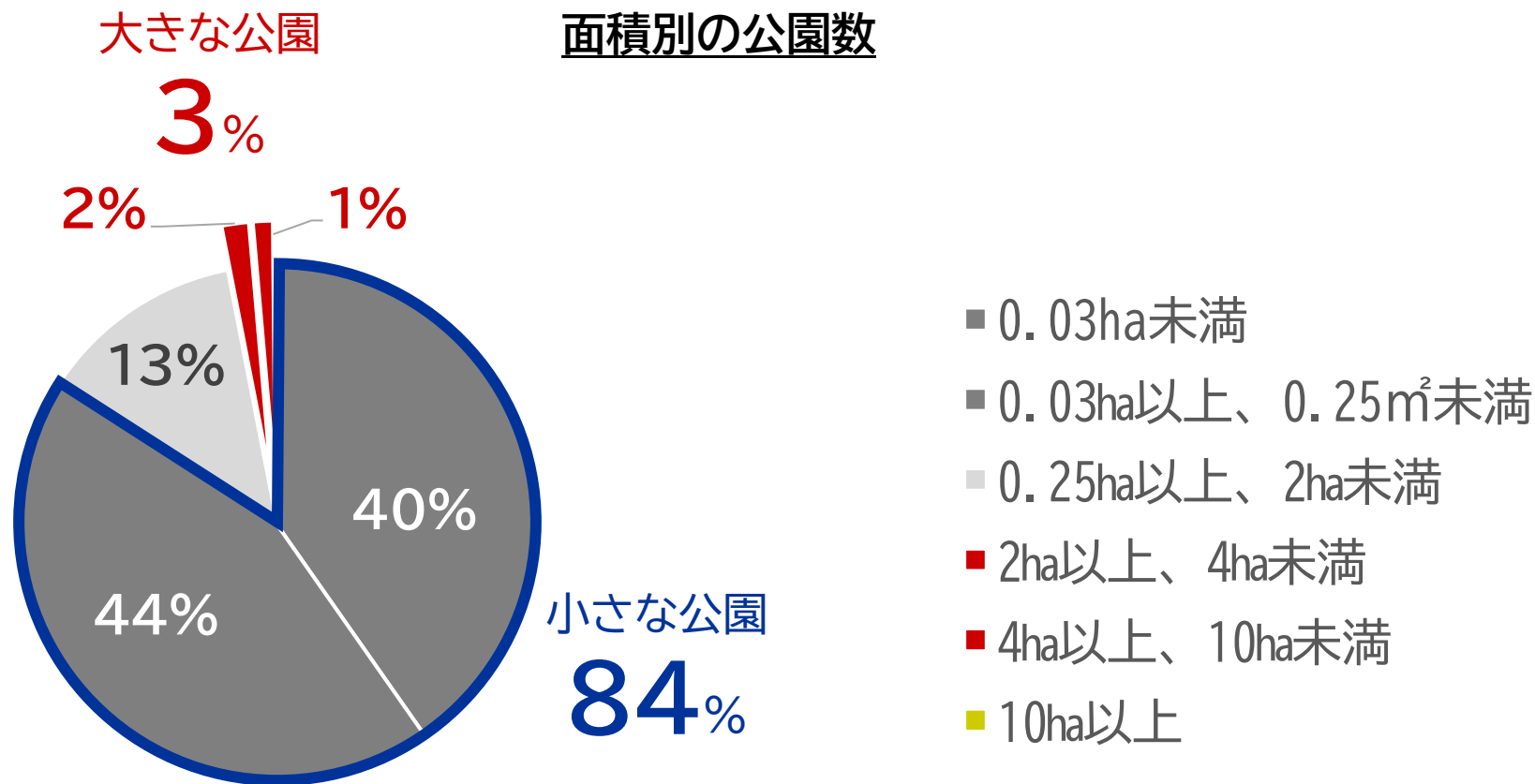
柏市が管理運営する公園は、令和5年3月末日時点で653公園となっている。

	名称	箇所数	面積(ha)
住区基幹公園	街区公園	525	45.96
	近隣公園	17	37.42
	地区公園	3	12.79
都市基幹公園	総合公園	2	34.28
大規模公園	広域公園	0	—
緩衝緑地等	特殊公園	3	9.78
	緑地	69	39.29
	緑道	34	6.39
	計	653	185.91

## 公園のイメージ図



柏市の公園は小さな公園が大半を占め、大きな公園はわずか3%である。



街区公園の標準面積0.25haを下回る公園の数は84%、300m<sup>2</sup>未満の小規模公園は40%となっている。一方、地区公園の標準面積4haを超える公園は3%となっている。

地区公園規模の4haを超える公園は、以下のとおりであり、あけぼの山公園及び柏市あけぼの山農業公園を合算すると、23.7haとなる。

	名 称	公園種別	供用開始	面積(ha)
1	手賀の丘公園	総合公園	H04.04.01	25.9
2	増尾城址総合公園	総合公園	S56.05.01	8.4
3	あけぼの山公園	風致公園	S45.06.02	5.9
4	大堀川防災レクリエーション公園	近隣公園	H27.03.31	5.9
5	大堀川リバーサイドパーク	緑 道	H10.03.31	5.7
6	柏リフレッシュ公園	地区公園	H18.04.29	5.7
7	中原ふれあい防災公園	地区公園	H17.03.31	4.8

### その他

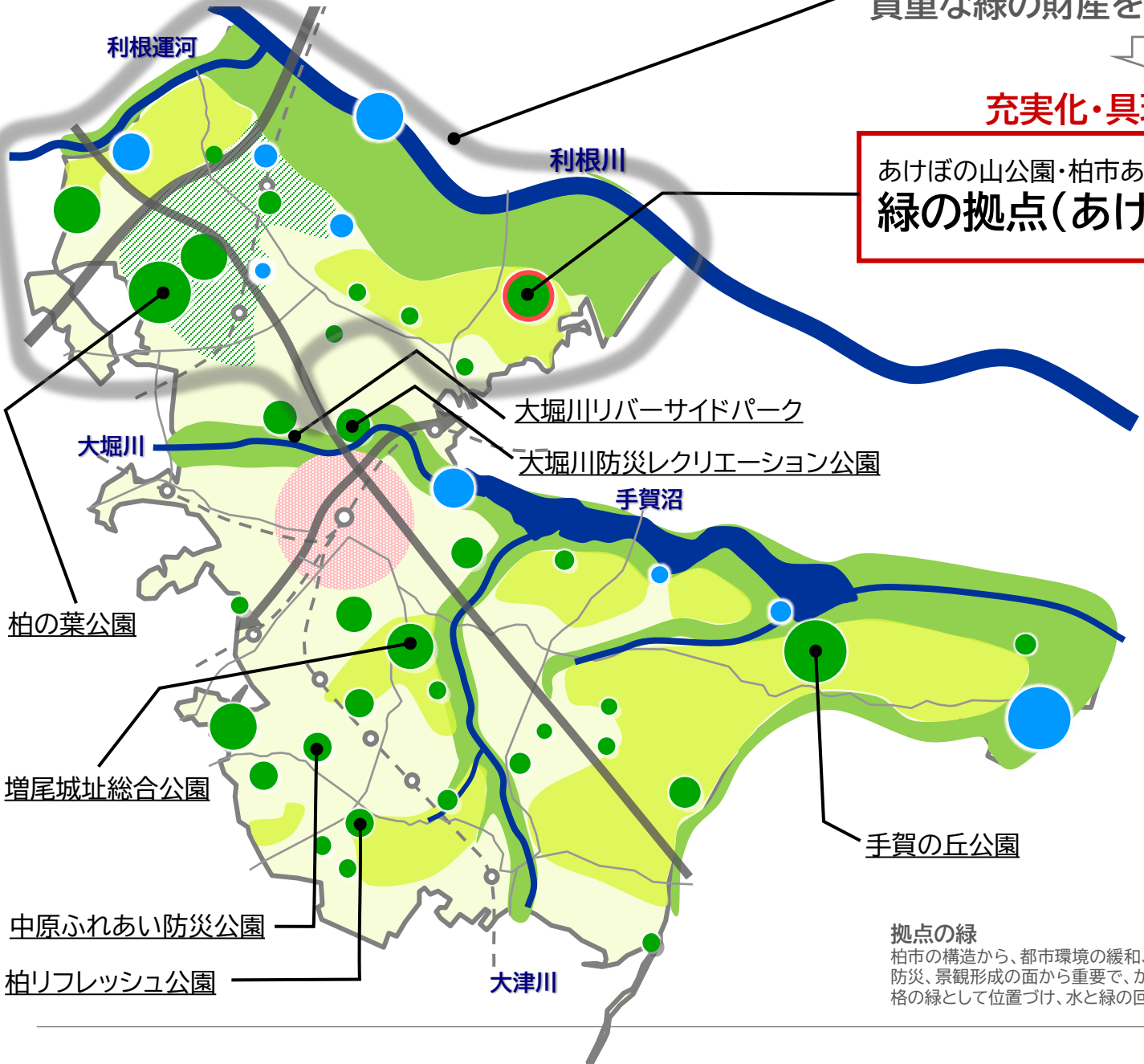
	名 称	公園種別	供用開始	面積(ha)
1	柏市あけぼの山農業公園	市独自公園	H06.04.01	17.8





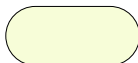
# 緑の将来像図(柏市みどりの基本計画)

北部地域の緑の将来像  
貴重な緑の財産を活かしたまちづくり

充実化・具現化していく拠点

あけぼの山公園・柏市あけぼの山農業公園  
**緑の拠点(あけぼの山農業拠点)**



-  骨格の緑
-  緑の拠点(34)
-  水辺の拠点(9)
-  まとまりのある緑の  
保全・活用ゾーン
-  モデル的な緑の  
保全・創出ゾーン
-  アメニティあふれる  
緑の創出ゾーン
-  市街地の身近な緑の  
保全創出活用ゾーン

## 拠点の緑

柏市の構造から、都市環境の緩和、生き物の生息地、レクリエーション、防災、景観形成の面から重要で、かつ自然の基盤となっている緑を骨格の緑として位置づけ、水と緑の回廊として保全を図る



## 2. あけぼの山周辺地域の概要

---

あけぼの山公園 及び 柏市あけぼの山農業公園



# ① あけぼの山周辺地域の歴史

- あけぼの山・布施弁天・手賀沼など、**柏市は古くから多くの行楽客が訪れる土地**だった。
- 明治44年に刊行された『富勢村誌』によれば、人々の俚諺(はやりうた)に「成田不動も布施弁天の半ばに昌(さかん)なればよいが」と唄われ、古江戸名勝図会にも載せられるほどに、**かつての布施弁天は多くの人々が集まる栄えた場所**であった。
- 布施弁天やあけぼの山がこのように栄えた理由は、東海寺住職や後藤家などがあけぼの山に桜を植林し、布施道や七里ヶ渡しを利用する旅人を呼び込むために実施した、**花による地域振興策が功を奏した**からと言われている。
- **市民が中心となり景勝地をつくって地域の活性化を目指す取り組み**は、今でこそ目新しくないが、江戸時代では先進的取り組みであったと考えられる。

## 布施弁天、紅龍山松光山東海寺

- 布施弁天は関東三大弁天の一つであり、延宝2年(1675年)、布施村にあった亀甲山(周囲を水に囲われ亀が浮かんでいるような形)に、後藤又右衛門が願主となり、里人と共に藁にて小社を造り、弁天を祀られたと言われている。
- 宝永2年(1705年)には、村人達の願いにより、布施村の古屋地先にあった東海寺を亀甲山へ引っ越しを行い、東海寺と弁財天は一体となって繁栄した。布施弁天が最も繁栄時期は、本堂が建立された享保元年(1716)頃から天明7年(1787)頃までと言われている。

※ 関東三大弁天とは  
相模の江ノ島弁天、浅草寺弁財天(浅草弁天)、布施弁天  
ただし、諸説あり。浅草寺弁財天ではなく、  
上野不忍池中島弁天と言われる場合がある。



明治44年布施弁天参道  
(写真: 柏市教育委員会)



関東三大弁天である布施弁天

## ② あげぼの山公園の概要

- あげぼの山公園の地は、布施弁天と対し利根川に近く、遠くに筑波山を臨む**景勝の地**であり、**春には桜が美しい花を咲かせる**など、古くから多くの人に愛されてきた。
- **古く江戸時代から、地域で守り育ててきた**曙山(桜山)を昭和45年に市が取得、再整備し、開園したのを手始めに、都市公園として、水生植物園、日本庭園、柏泉亭(茶室)を段階的に整備してきた。
- あげぼの山公園での主要なイベントである「桜まつり」は、昭和46年に柏市観光協会が、公園の開園と北柏駅の開業を記念して開始した。



江戸時代中期に整備された桜



市制35周年記念で整備された柏泉亭

### ③ あげぼの山農業公園の概要

- 農業振興政策の一環として農業研修センター(現本館)を昭和57年に開設後、平成6年に、「都市化により失われつつある自然とのふれあいの場」、「都市市民と農家との交流を通して、都市農業の振興を図る場」として設置された公園であり、柏市を代表する観光施設である。
- 園内は、営農組合が中心となり、農村の活性化と農業への理解を深めてもらう「体験農園地区」と都市農業振興の拠点、レクリエーションの拠点である「都市農業公園地区」に分かれる。

広報かしわ 平成6年5月1日号



※富勢地区ふるさと農園営農組合:体験農園地区の地権者が集まって平成2年度に設立、市民農園や体験農園の運営、花の植栽等を実施。  
 ※観光農園:公園周辺には、公園と一体になって地域活性化を目指す観光農園が立地。(イチゴ、ブルーベリー、ミカン)

※ 参考文献:あげぼの山農業公園基本計画、広報かしわ 平成3年7月11日号

## ④ 公園の位置や諸元

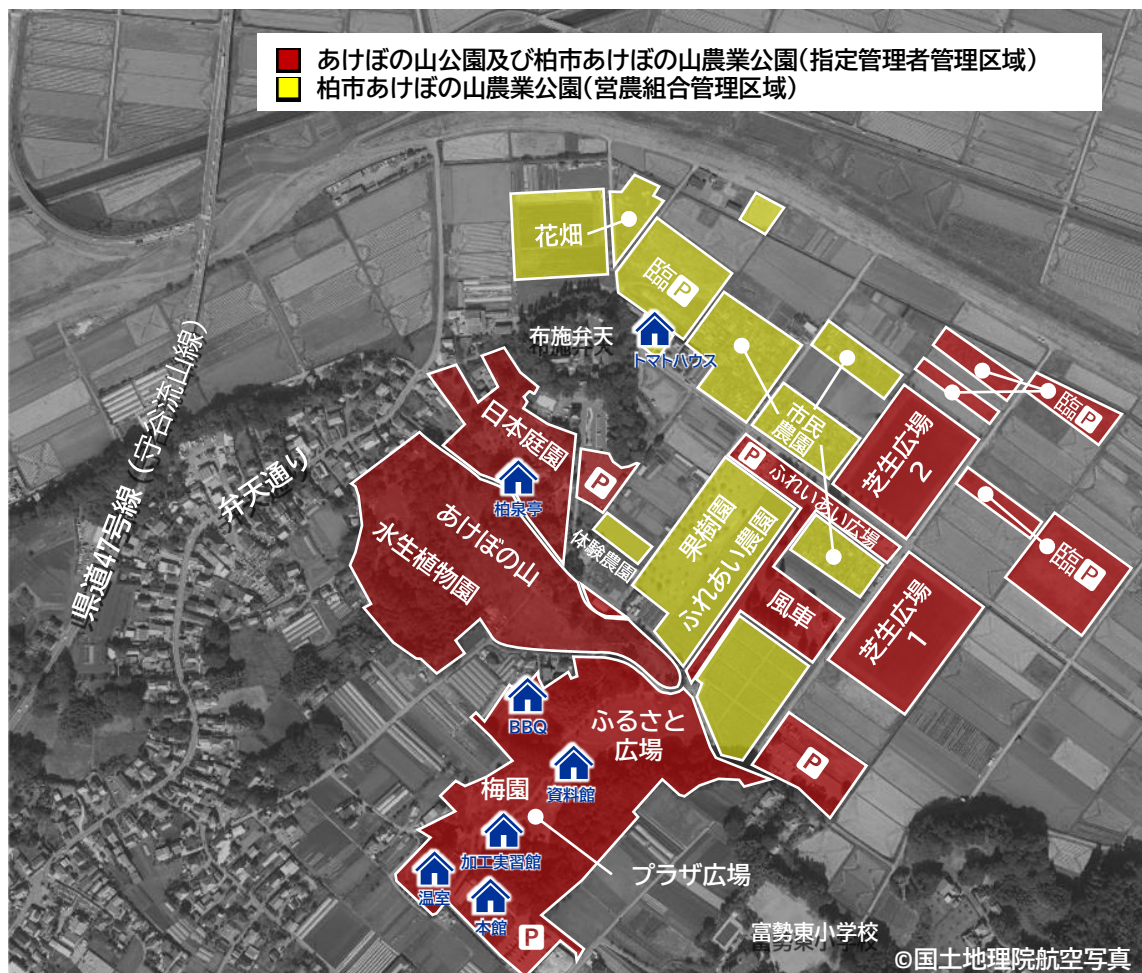
本公園は、都市公園である「あけぼの山公園」、柏市条例に基づく「柏市あけぼの山公園」の2つの公園により成り立っている。



	あけぼの山公園	柏市あけぼの山農業公園
所在地	柏市布施 1940他	柏市布施 2005番2
公園種別	都市公園 (風致公園)	柏市独自公園
根拠法令	柏市公園条例 (都市公園法)	柏市あけぼの山 農業公園条例
公園面積	58,963㎡	177,600㎡
	合計 236,563㎡ (23.7ha)	
開設日	昭和45年6月2日 (1970年)	平成6年4月29日 (1994年)
所有者	柏市	柏市 柏市(借地) 個人農家

## ⑤ 公園運営の区分

本公園は、2者による運営を行っており、農に関する部分は営農組合、レクリエーションなど公園に関する部分は指定管理者が担っている。



	あけぼの山公園	柏市あけぼの山農業公園
所在地	柏市布施 1940他	柏市布施 2005番2
公園種別	都市公園 (風致公園)	柏市独自公園
根拠法令	柏市公園条例 (都市公園法)	柏市あけぼの山 農業公園条例
公園面積	58,963㎡	177,600㎡
	合計 236,563㎡(23.7ha)	
指定管理 区域面積	58,963㎡	116,600㎡
	合計 175,563㎡(17.6ha)	
営農組 合管理 区域積 面積	0㎡	61,000㎡
	合計 61,000㎡(6.1ha)	

## ⑥ 公園内の主な施設と現状の機能

### あけぼの山公園

#### あけぼの山

江戸時代から、桜の名勝であった通称さくら山を市が買取り、公園として整備



#### 日本庭園

昭和61年に開園、池やせせらぎの水際まで芝生をはるなど、自然的要素を取り入れた庭園



#### 柏泉亭

平成3年に市政35周年記念で建設、こんこんと湧く泉のように柏市の発展を祈って命名



#### 水生植物園

昭和54年に開園、約2千㎡の池を中心に中州や東屋がある水と緑の純日本風の庭園



## あけぼの山農業公園(農業公園地区)

### 本館

旧農業研修センター、現在は事務所以外に研修室、和室など貸室として活用



### 資料館

旧農業展示の場、現在は、売店・キッズルーム・貸室、今後はパークセンターとして活用



### プラザ広場

資料館や加工実習館に囲われたエリア、現在は、TrialGarden事業で活用



### ふるさと広場

レクリエーションの場としての役割を担い、各種イベントが開催できる芝生広場として活用



### 栽培温室・展示温室

販売用の苗の栽培温室、熱帯植物の展示温室、栽培温室は現状はTrialGarden等で活用



### 加工実習館

農産物を加工するアグリプラントとして建設、現在は貸室として活用



### バーベキューガーデン

自ら収穫した野菜等を使ったバーベキューとして計画、現状もバーベキュー施設として活用



### 梅園

傾斜地に紅白の梅の木を100本と遊歩道、四阿を配置した梅林





## あけぼの山農業公園(体験農園地区)

### 風車と水辺の広場

豊かな田園風景を演出する風車や池を配置、シンボルとして景観を考慮した植栽を計画



### ふれあい農園

四季折々の花を栽培し、花と土にふれることができる農園



### 市民農園

一区画30㎡程度の圃場を市民へ解放し、主体的に耕作できる農園、平成4年に開園



### トマトハウス

平成4年にオープンした地元柏市産の新鮮な野菜を安全・安心・安価に購入可能な直売所



### ふれあい広場

修景池や休憩所、駐車場を配置した広場



### 体験農園

種まきから収穫までの一連のサイクルを体験できる田畑、サツマイモ収穫など学童農園



### 果樹園

農家がウメ、アンズ、カリンなどの果樹を栽培収穫、現状では、ピクニック的利用が多い



### 芝生広場

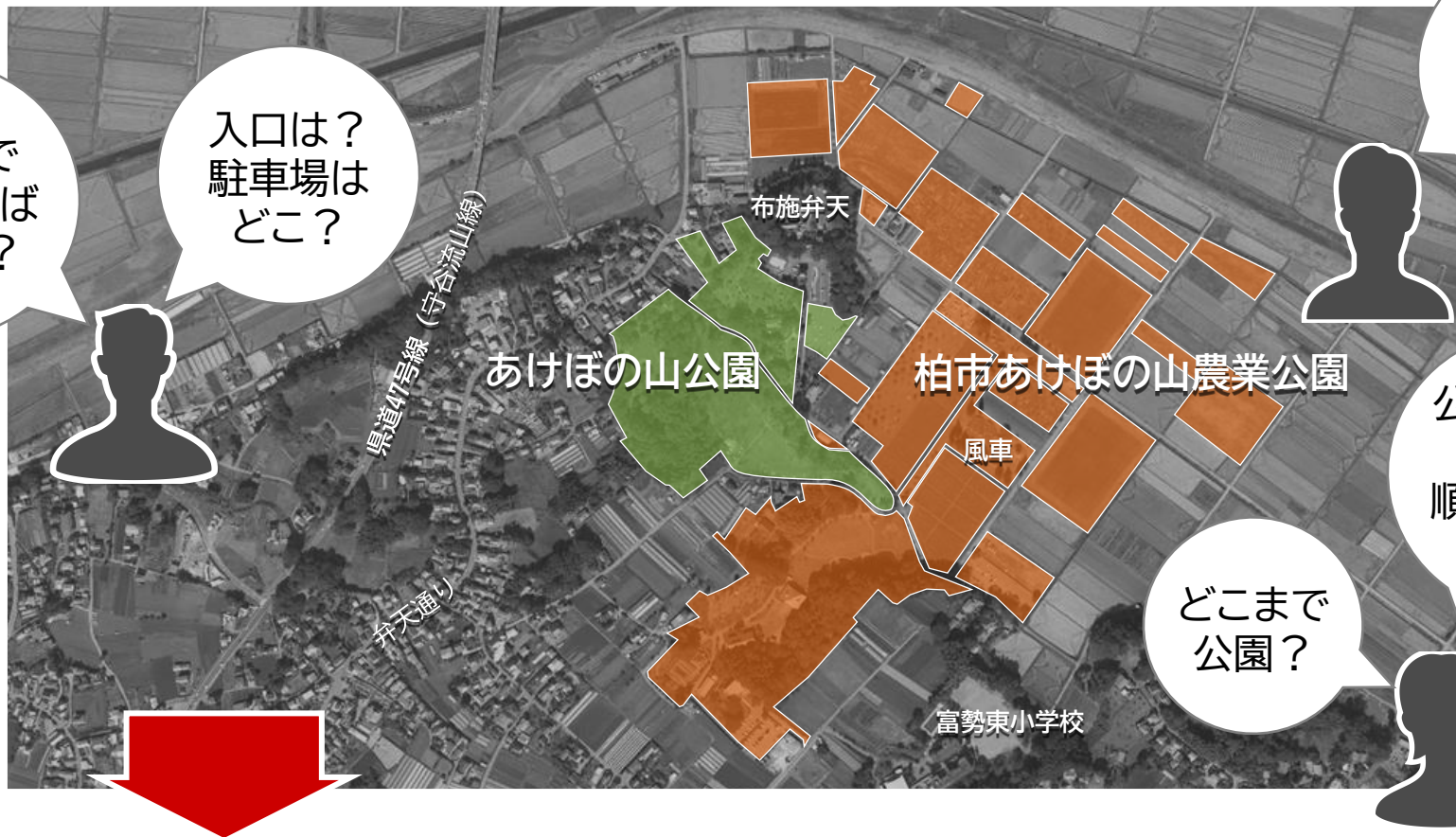
天然芝の広場が2面あり、主にサッカー等のスポーツ利用が行われている



## ⑦ 公園のゾーニングに対する市の課題認識

公園の成り立ちや経緯が別々の2つの公園

結果として、土地で分断され連続性がない『パッチワーク状態』



公園全体の一体性やゾーニングを検討すべきではないか？

### 3. 公園の運営状況

---

あけぼの山公園 及び 柏市あけぼの山農業公園



# ① 指定管理事業の概要

平成31年4月1日～令和6年3月31日(5年間)

令和6年4月1日～令和11年3月31日(5年間)

事業者	あけぼの山パートナーズ (柏市まちづくり公社、西武造園)			事業者	あけぼの山はなやぎプロジェクト (日比谷花壇、グリーバル、ランドフローラ)		
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の管理事業</li> <li>・飲食事業(BBQ、軽食の販売)</li> <li>・物販事業(売店、軽食の販売)</li> <li>・施設の利用促進</li> <li>・花シーズンなどにおけるイベントやワークショップの実施</li> <li>・運営協議会の設置(市民・地域住民・専門家・農業者等)</li> <li>・TrialGarden事業の実施 など</li> </ul>			事業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園の管理事業</li> <li>・ヘッドガーデナーの配置</li> <li>・Trial Garden事業の実施(進化)</li> <li>・パークセンターの設置(資料館)</li> <li>・コンシェルジュの常駐(資料館)</li> <li>・飲食事業(BBQ、軽食の販売)</li> <li>・物販事業(売店、花きの販売、軽食の販売)</li> <li>・施設の利用促進</li> <li>・常設ワークショップの開催</li> <li>・花シーズンなどにおけるイベントやワークショップの実施</li> <li>・月1回の大型イベントの実施 など</li> </ul>		
指定管理料	令和元年度	131,890	千円	指定管理料	令和6年度	139,800	千円
	令和2年度	133,100	千円		令和7年度	139,800	千円
	令和3年度	133,100	千円		令和8年度	139,800	千円
	令和4年度	133,100	千円		令和9年度	139,800	千円
	令和5年度	133,100	千円		令和10年度	139,800	千円
	合計	664,290	千円		合計	699,000	千円

## ② 今まで実施してきた様々な事業

### 大型イベント

#### チューリップフェスティバル

チューリップの開花時期の4月に開催、模擬店など、約10万人以上が来園



#### 夏祭り

ひまわりの開花時期の7月に開催、子供が楽しめる遊びが盛りだくさん



#### 農業公園祭り

コスモスの開花時期の10月に開催、模擬店、近隣中学校の吹奏楽演奏など



#### グリーンフェスティバル

花苗、観葉植物、多肉植物、サボテンなどの直売の他、植物ガイドツアーなどを実施



#### パンフェスティバル

柏市内外のパン屋約30店舗、飲食キッチンカー10店舗が出店



#### サッカーフェスティバル

芝生広場で、親子からシニア世代まで無料で楽しめるサッカーイベントを開催



#### ハワイアンフェスティバル

県内フラダンスチーム12団体が出演、キッチンカーや雑貨など66店舗が出店



#### DOGマルシェ

ドッグ雑貨など32店舗の出店、ドッグヨガ、wanwanゲーム大会など



# 飲食・物販事業、こども向け事業

## 売店

軽食や来園時のお土産物、傘やレジャーシートなどの日用品を販売



## バーベキュー

BBQとカフェが併設する公園内唯一の店内飲食が可能な場所



## ひまわり油

ひまわりの播種～種取までを小学校で実施、搾油した油は小学校へ配布



## 鯉のぼりワークショップ

スポンジで鯉のぼりを作る、幼児向けワークショップ



## みずあそび

夏場に子ども向けの無料のプールや水滑りを設置



## あけぼの里山パーク

斜面林を活用した森遊、ターザンロープやハンモックなどを配置



## 縄文土器づくり体験

柏から出土した縄文土器をモデルに、柏の粘土で縄文土器を作り、園内で焼成



## 昆虫展

昆虫標本展示、ヘラクレスオカブトとの記念撮影など



# 食・農関連事業

## みそづくり

加工実習館で各団体が行う味噌づくり、大豆の販売などを実施



## フードフェスティバル

キッチンカー50店舗とハンドメイドマルシェの出店



## キッチンカーがやってくる

土日にキッチンカーが出店



## 農業機械展示会

農業振興を目的とし、農家だけでなく一般のお客様も見学可能とした展示会



## 梅干しづくり体験

加工実習館にてストックバックを使った手軽にできる梅干しづくりを体験



## ブルーベリーアイス作り

近隣のブルーベリー農園を見学・試食の後、加工実習館にてアイスづくりを体験



## 畑っこくらぶ

親子土いじり体験講座、親子で土に触れる機会をつくることを目的に実施



## オリジナルスイーツ

地産の果物、野菜を使ったオリジナルスイーツを開発、柏産ブルーベリーをPR



# その他事業

## 花見

さくら山の桜の見頃に合わせた夜間ライトアップ、模擬店など



## お茶会

春と秋に日本文化(茶の湯)の紹介や園内の回遊性向上と柏泉亭のPRを図るため実施



## はち育

みつばちの特性を活かした環境教育プログラム、園内で採蜜したはちみつの商品化など



## あけぼの市・青空市

公園サービス向上のために実施するイベント、フリーマーケットや飲食販売など



## あけぼの山トライアル

花き事業者と連携し、非公開の花き試験を、Trial Garden事業として一般に公開



## フットパスツアー

初夏の花の解説や布施弁天など周辺の史跡を散策、ブルーベリー摘み取り、柏泉亭での呈茶つき



## フラワーアレンジづくり

ひまわりやコスモスなど公園にゆかりのある花材を使用したフラワーアレンジメント



## イルミネーション

風車前広場にてイルミネーションライトを点灯(11月下旬～12月下旬)



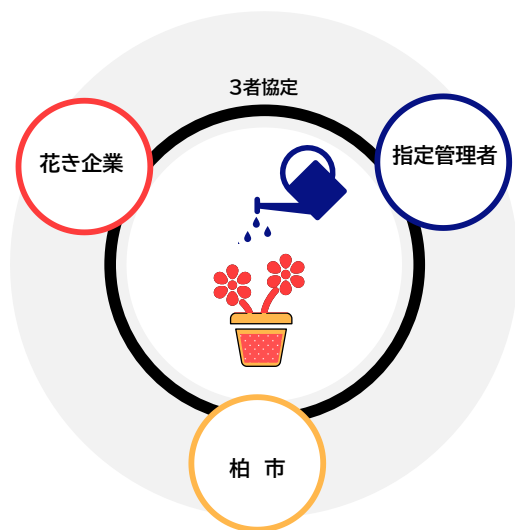
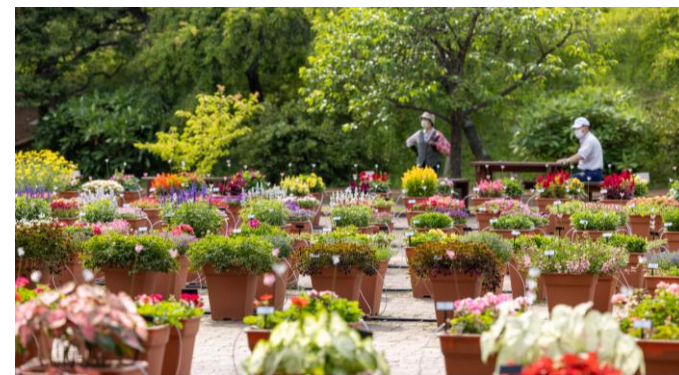


## Trial Garden事業

関係者のみにしか、公開していなかった圃場での花き試験を公園内で実施し、試験過程を多くの方に見ていただくものであり、令和4年度から、あけぼの山農業公園において、本格的に事業を開始した。

### ※花きの試験とは

市場に出荷される花きは、圃場で花きの活力や耐性に関する試験を何年も経て、選ばれた種のみ、商品として出荷されている。この試験は、各種苗会社のノウハウや機密情報が多く含まれていることから、通常、非公開となっており、生産者や小売店などの関係者に限定して、公開されている。

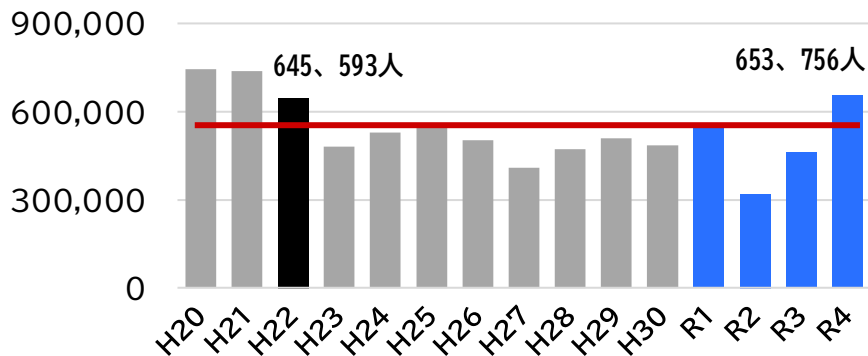


	花き企業	柏市	指定管理者
事業実施意義	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花き文化の普及や社会に貢献する</li> <li>・行政と連携の機会を得る</li> <li>・消費者ニーズを把握する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園満足度を高め、都市の魅力向上につなげる</li> <li>・民間企業と連携し、新たな公園の魅力を創出する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特色ある花のコンテンツを提供し、公園の魅力を向上させる</li> <li>・気候や風土に合致した管理手間の少ないパフォーマンスのいい花を探す</li> <li>・園内を有効に活用をする</li> </ul>
役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・花き生育の監督</li> <li>・花き生育状況の観察、記録</li> <li>・花、土、肥料の用意</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本事業の統括</li> <li>・フィールドの提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公園全体運営</li> <li>・花の日常管理</li> <li>・ディスプレイデザイン</li> <li>・事業の評価、総評</li> </ul>

### ③ 令和4年度までの公園運営状況

コロナ禍でも、12年ぶりに60万人越えを達成

#### 入園者数の推移



フォロワー数が増加(R5.11.19時点)

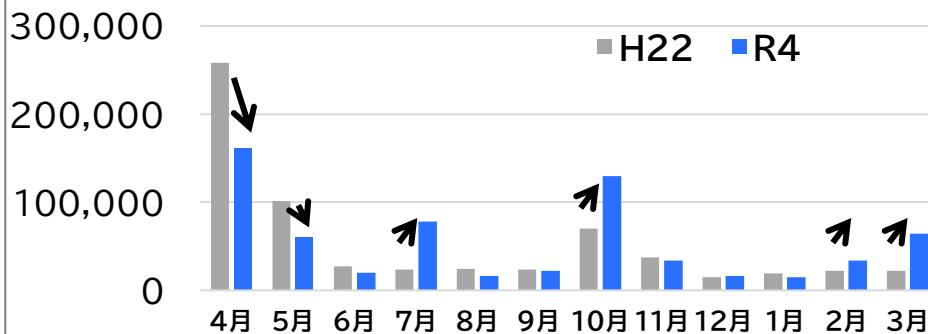
#### Instagramフォロワー数



施設名	フォロワー数
道の駅しょうなん	0.4万人
いばらきフラワーパーク	1.2万人
ひたち海浜公園	5.3万人
あしかがフラワーパーク	6.3万人

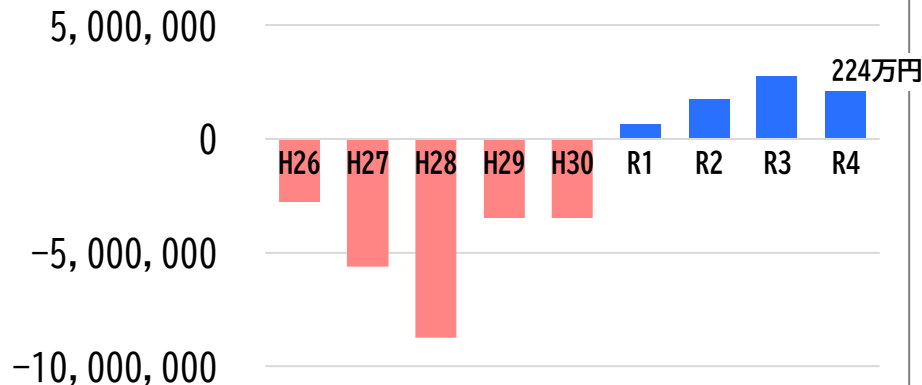
春は減ったが、他の季節で底上げができた

#### 令和4年度の月別の入場者数の比較



今期は、収支赤字を改善し、プラスに

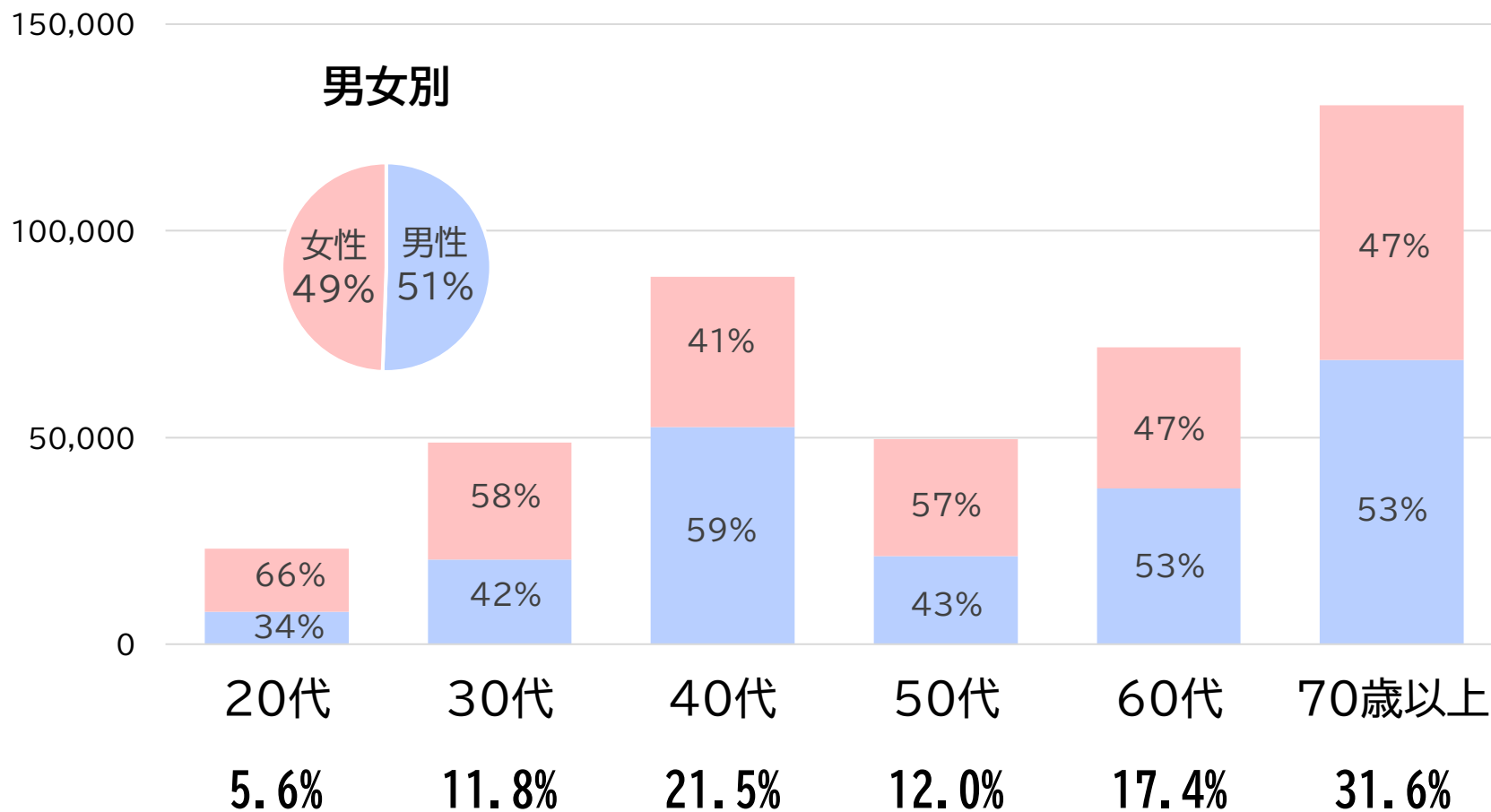
#### 収支差



※ 入園者数は、指定管理者の計測値によるもの

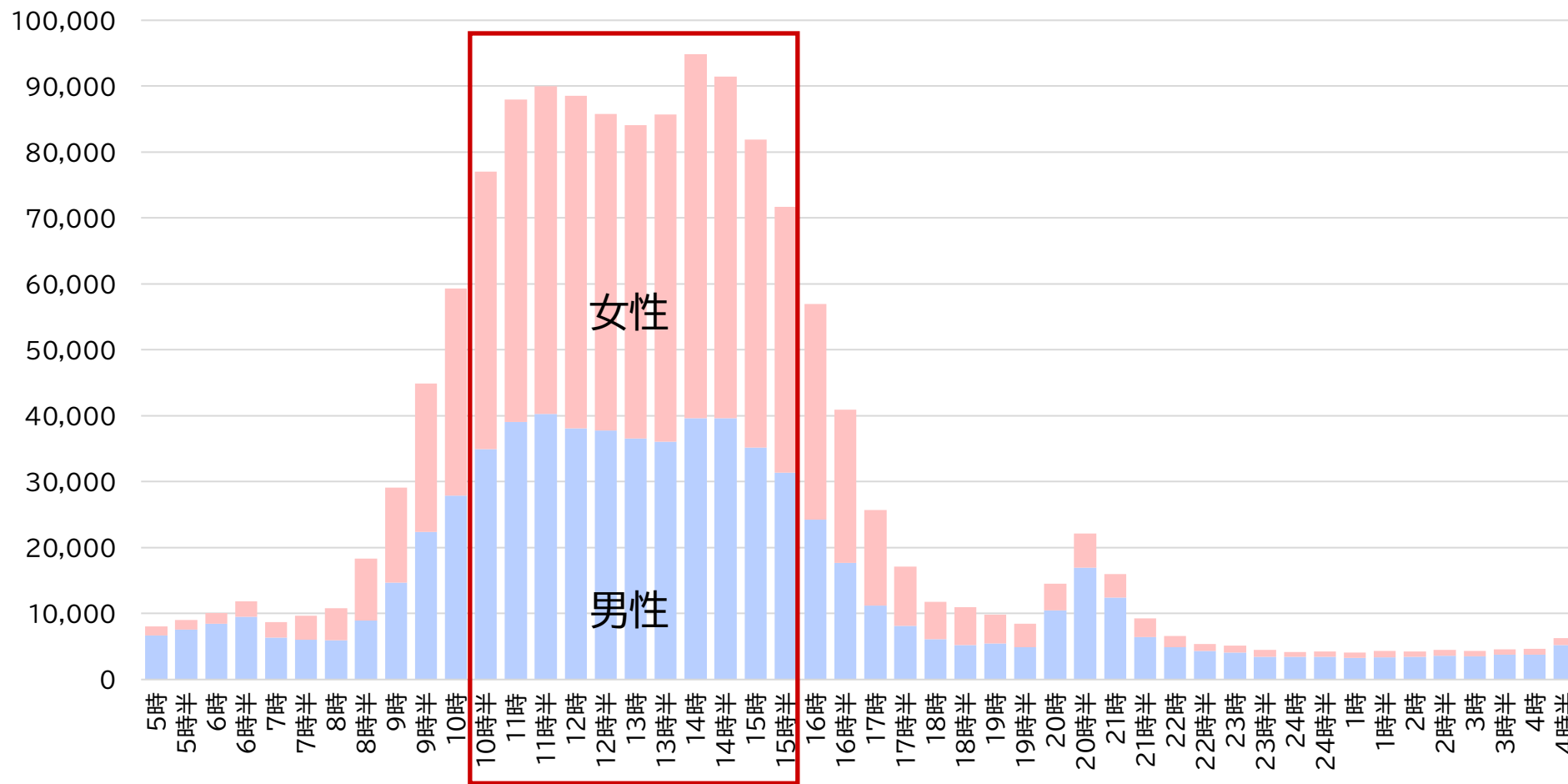
## ④ 来園者の構成

年代では、70代について、40代が多い。男女比はほぼ同数であるが、年代別では、20代、30代、50代では女性が多くなっている。



## ⑤ 来園者の利用時間

10時半ぐらいから15時半ぐらいまでが、主たる利用時間となっている。



## 4. 公園の魅力

---



# ① 市が考える公園の魅力



開園当初からの  
この景観  
が一番  
の強み

開園した平成6年に、地域と共に創った強力なコンテンツ



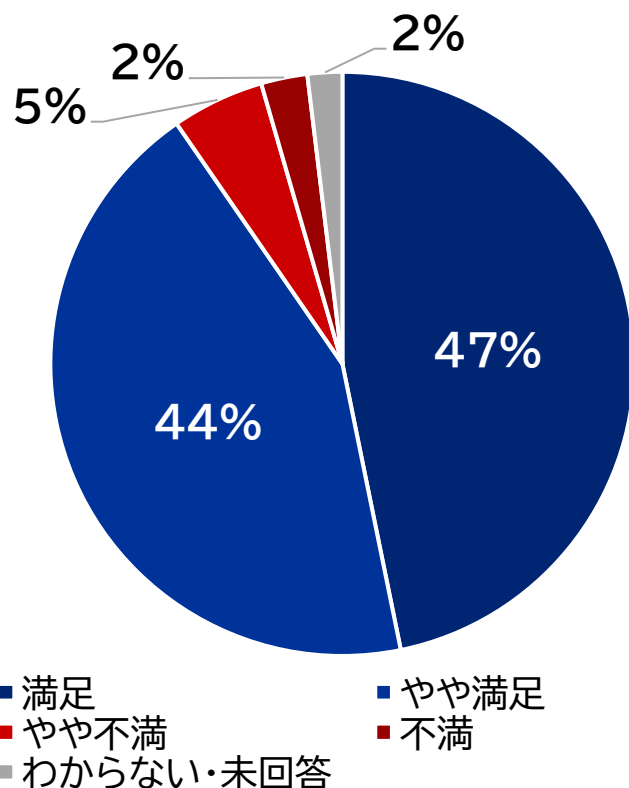
くつろぎ空間と  
イベント開催  
この賑わ  
い空間が  
強み

定期的なイベント開催により、多くの人が集まるふるさと広場

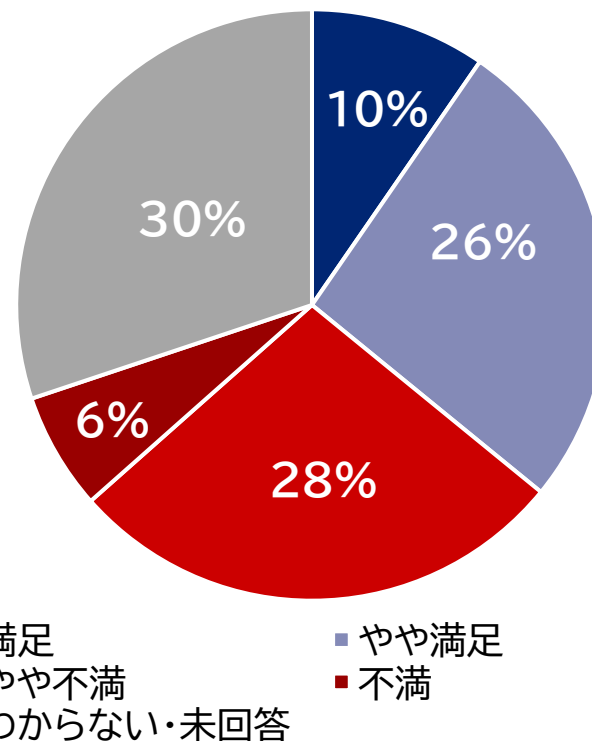
## ② 公園の満足度

令和5年度に実施したあけぼの山農業公園の利用者156人に対するアンケート調査では、景観の綺麗さは満足が91%と非常に満足度が高い結果となった一方で、飲食施設は満足が36%、不満が34%となっており、**利用者のニーズを充足できていない部分がある。**

景色の綺麗さの満足度



飲食施設の整備状況の満足度

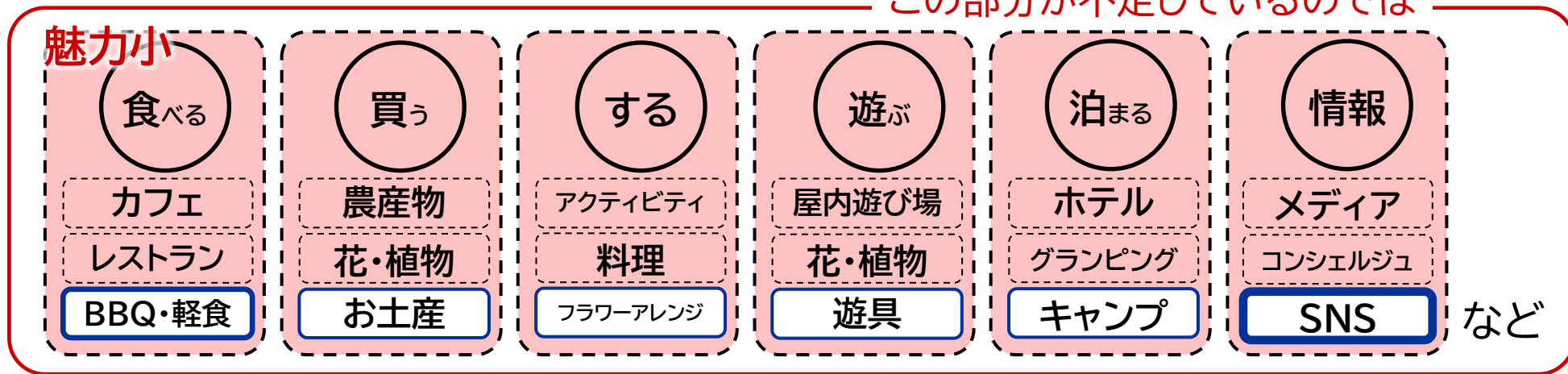




### ③ 魅力に対する市の課題認識



この部分が不足しているのでは



今の人が求めていること(例えば上記のようなコンテンツ)を提供しなければ、他の公園との差別化、相対的な魅力向上はできない。

## ④ 全国の魅力向上策(民間の力も借りながら)



北海道恵庭市 はなの拠点「はなふる」

全国から来訪する花の施設！

約6.1haの園内に北海道を代表するガーデナーが趣向を凝らした7つガーデンがある。

そのほか、[レストランやカフェ、パン屋などが入る道の駅](#)、[野菜や花などの直売所](#)、[屋内の遊び場](#)、[観光案内所](#)、[RVパーク](#)、[スターバックスコーヒー](#)、[集会施設](#)、[ホテル](#)がある。

令和4年度の全国都市緑化フェアには会場となっている。



「Mr.FARMER駒沢オリンピック公園店」

民設民営の飲食店舗

産地にこだわった新鮮な野菜を取り入れた料理が自慢の公園内レストラン。

[近隣農家の野菜を取り扱う「ファーマーズマーケット」](#)、[食育の一環として「親子向け料理教室」](#)、[ヨガ](#)、[防災フェスタ](#)などを開催。

[売り上げの一部を公園に還元](#)され、公園の魅力アップ等に使われる。

- ・ 近年、全国各地で他にはない独自の花の魅力を発信する花の名所が増えている。
- ・ 本公園は、更に魅力向上を図ることが可能なポテンシャルを有する公園であるものの、**現状のまま何もしなければ、その魅力向上の機会を失う**とともに、**相対的に本公園の魅力が下がっていく**と危惧している。

### 関東圏の花の名所(例)



#### 国営ひたち海浜公園 (茨城県ひたちなか市)

平成14年にネモフィラを植え始め、花の景観(見晴らしの丘)は全国的に有名な場所となった。秋のコキアも有名。

運営:(一財)公園財団

面積:約215ヘクタール(開園部)



#### いばらきフラワーパーク (茨城県石岡市)

令和3年に県の花であるバラをテーマに、リニューアル。年間100のアクティビティなど、五感を刺激するひとときを提案。

運営:(株)パークコーポレーション※代表

面積:約30ヘクタール



#### あしかがフラワーパーク (栃木県足利市)

園内に350本以上の藤があり、樹齢160年、日本最大面積の藤棚が有名。また日本三大イルミネーションとしても有名。

運営:(株)足利フラワーリゾート

面積:約8ヘクタール

他にも、横浜イングリッシュガーデン(神奈川県横浜市)、中之条ガーデン(群馬県吾妻郡中之条町)、HANA・BIYORI(東京都稲城市)、京成バラ園(千葉県八千代市)、東京ドイツ村(千葉県袖ヶ浦市)、マザー牧場(千葉県富津市)など、近年、新たな花の魅力を発信している公園等が増えている。

## 5. まとめ

---



## ① 今まで行ってきたこと

### あけぼの山公園

歴史・文化 → さくら山(布施弁天との繋がり)、柏泉亭

レクリエーション・憩いの場 → アスレチック(昔)、さくら山



サクラをきっかけに人を呼び込み、**地域振興、余暇の場を提供**

### あけぼの山農業公園

土や自然にふれあう場 → 大花畑、市民農園

レクリエーションの場 → ふるさと広場、加工実習館、アスレチック(昔)、BBQ



チューリップなどの花の景観をきっかけに人を呼び込み、**農業振興、余暇の場を提供**

花をコンテンツにして、それぞれ各々に  
地域振興・農業振興・余暇の提供を進めてきた

## ② これからは

### ● 強みである花の魅力を更に磨き、次世代につなぐ

- ・ 来園のきっかけは「花」、花こそが一番の強み
- ・ この地域の固有の歴史・文化を、引き継ぐ

### ● 足りないコンテンツを強化し、公園の魅力を向上

- ・ 地域振興・農業振興だけでなく、様々な視点で魅力を向上  
文化や歴史の継承、良好な景観の形成、交流・レクリエーションの促進、  
地域振興・農業振興、観光振興など
- ・ 民間のノウハウ、知見を活かして、不足する魅力を強化
- ・ 1日過ごすことのできるような滞在型の公園が目標
- ・ 公園内で様々な収入源を生み出し、利益は公園に還元

### ● 魅力の向上には、連続性のある一体的な公園が前提

- ・ 両公園を、土地が連続する一体的な公園として再整備
- ・ 公園区域の見直し拡大も視野に、ゾーニングを整理
- ・ 公園までのアクセス性向上も踏まえたゾーニング検討

柏市の  
都市イメージ  
を向上

## 6. 今後の検討

---



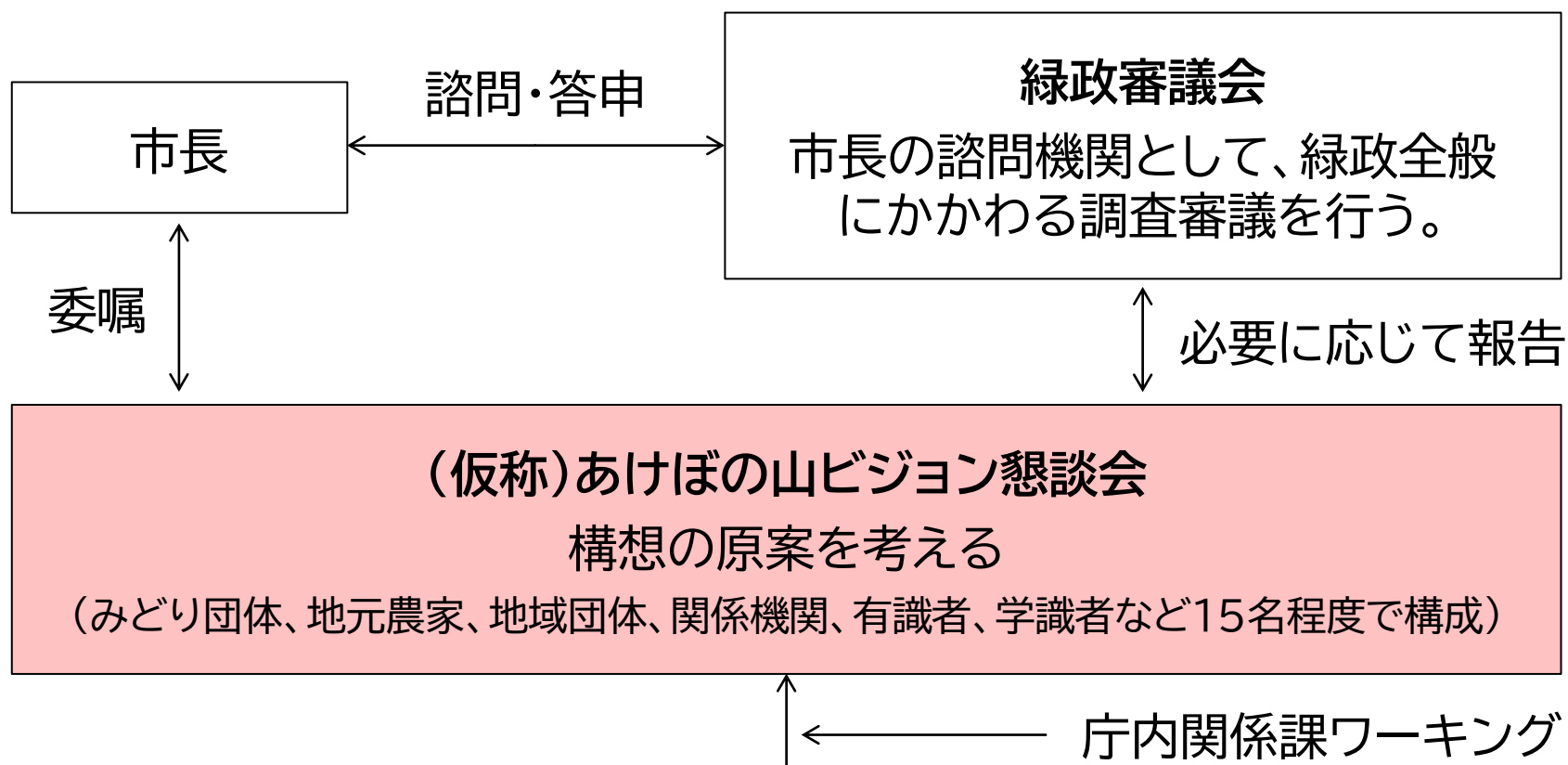
## ① 今後について

- 柏市緑の基本計画で「緑の拠点(あけぼの山農業拠点)」として位置付けられているあけぼの山公園と柏市あけぼの山農業公園について、「緑の拠点」としての位置付けはそのままに、北部地域の緑の将来像である「貴重な緑の財産を活かしたまちづくり」を、より充実かつ具現化した「実現可能な構想」を策定したい。
- あけぼの山公園と柏市あけぼの山農業公園の「2つの公園を一体とした花の象徴的な公園」として、公園区域の拡大も含めた、今後のあり方の検討を進め、本公園の更なる魅力向上に向けた方向性を構想として取りまとめたい。  
なお、構想には、「公園理念・ビジョン、公園区域、ゾーニング、アクセス、整備方針」などを記載することを想定している。
- 実現可能な具体の構想策定とするため、地元も含めた懇談会を設置したい。



## ② 検討体制

地域の方や学識者等で構成される懇談会を設置し、懇談会において構想の原案を検討し、緑政審議会へ構想を諮問・答申する。



地域住民、市民、公園利用者、公園での活動希望者などの声

### ③ 検討の流れ(予定)

